

屋外催し会場 自主チェック表

【開設場所の安全管理】

☐	避難のための空地または出入口が確保されています。
☐	夜間等でも避難時に必要な照度が確保されています。
☐	屋台、テントは強風等で倒壊したりしないよう固定されています。
☐	消火器は国家検定品を準備し、適切な場所に設置されています。
☐	消火器の正しい取扱い方法を確認しています。
☐	万一来火、119番通報、初期消火、避難誘導等の担当者を決めています。

【火気器具等】

☐	使用中は、その場から離れません。
☐	周囲は常に整理整頓し、可燃物を放置しません。
☐	安定した不燃性の床、台等の上に設置されています。
☐	使用前、使用後は必ず点検を行い、故障や破損しているものは使用しません。

【ＬＰガスについて】

☐	ボンベは直射日光の当たらない風通しの良い場所に置きます。
☐	ボンベは平らな場所に置き、柱に固定するなど、転倒防止を行っています。
☐	ゴムホースは、ひび割れや劣化のない専用のものを使用しています。

【まき、木炭等】

☐	着火に使用した器具、着火剤等はコンロの付近に放置せず、適切に保管しています。
☐	まき、木炭等を使用した後は、残り火や取り灰などの後始末を確実にします。

【電気器具】

☐	たこ足配線はせず、許容電流を守っています。
☐	コンセント、配線には、器具等の荷重がかからないようにしています。
☐	電気器具、コンセントには水がかからないようにします。水がかかる可能性がある場所には、防水性能を有するものを設置しています。

【発電機】

☐	観客等が近づかないような場所に設置、または近づけないようにロープ等で区画しています。
☐	なるべく途中で給油しなくても良いようにしています。
☐	給油が必要な場合は、発電機を停止させるとともに、観客等のいる場所での給油はしません。

【燃料の準備が必要な場合】

☐	燃料を運搬、保管するときは、消防法令に適合した容器を使用しています。
☐	燃料の保管場所は、火気、直射日光が当たらない風通しの良い場所で、発電機及び観客等から十分な安全距離を保っています。
☐	ガソリン容器のキャップを開ける前には、必ず安全な場所で圧力調整弁から圧力抜きを確実にします。